

## 令和4年度 東京都高等学校地区別卓球大会要項

主催 東京都高等学校体育連盟卓球男子専門部

標記の大会を下記により開催いたしますので、希望校は参加費を振込の上お申し込みください。

### 記

1. 日時・会場 8月2日(火) 9:00～  
8月3日(水) 9:00～

8月2日(火)に東西南北各地区の準決勝まで行い、翌日3日(水)に各地区の決勝を行う予定です。その後、各地区の優勝チームによる順位決定戦を行います。但し、試合の進行状況によって1日目の残り試合を翌日に繰り越すこともあります。

会場はいずれも葛飾区総合スポーツセンター体育館 京成線立石・青砥駅下車徒歩15分

2. 種目・参加数 団体戦のみ

- ① 令和4(2022)年度都総体予選学校対抗の部でベスト4以上の学校は出場できない。
- ② 令和4(2022)年度都総体予選学校対抗の部でベスト8の学校は1チームのみ参加できる。
- ③ その他の学校は参加チーム数を制限しない。

3. 競技規定 現行の日本卓球ルールと以下の規定を適用する。

- (1) 選手は、(公財)日本卓球協会発行の2022年度ゼッケンを背中につけること。
- (2) タイムアウト制は適用しない。
- (3) 日本卓球ルールで、特に留意すること。
  - ア. ラケット、正規のサービス及び促進ルールについて正しく理解しておくこと。
  - イ. 競技用ユニフォームは(公財)日本卓球協会公認マークの付いたものとする。
  - ウ. ラバーをラケット本体に貼る場合に使用する接着剤は、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして(公財)日本卓球協会が公認した接着剤のみとする。
  - エ. 接着剤の使用は、指定された場所のみで認める。

4. 競技方法

- (1) 東・西・南・北の地区別にトーナメント方式で行う。
- (2) 次の方法で行う。
  - ア. 登録選手は4～7名とする。
  - イ. 試合形式は4～6名でオーダーを組むことができる4シングルス1ダブルスで行う。試合順序は1番シングルス・2番シングルス・3番ダブルス・4番シングルス・5番シングルスを原則とする。
  - ウ. ダブルスに出場する選手はシングルスにも重複出場できるが、シングルの1・2番に出場した選手同士でダブルスを組むことはできない。また、シングルスは4人とも異なる選手が出場しなければならない。
  - エ. 進行状況によってはシングルス4試合を先に行うこともあり得るが、この場合でもオーダーの組み方は上記「ウ」の規定に従う。
  - オ. 勝敗は3試合先取で決する。

## 5. 使用球・使用台

- (1) 試合球は(公財)日本卓球協会公認の40mm<sup>+</sup>プラスチック白球とする。
- (2) 使用卓球台は(公財)日本卓球協会公認台とする。

## 6. 参加資格

- (1) 2022年度東京都高等学校体育連盟男子卓球専門部加盟登録済みの学校のうち、**都内23区に所在する学校**に在籍する、2022年度(公財)日本卓球協会登録済み選手。
- (2) 年齢は、平成15年(2003年)4月2日以降に出生した者とするが、出場は3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (3) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。ただし、事前に学校単位で東京都高等学校体育連盟事務局に申請し許可を得ること。
- (4) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、東京都高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (5) 上記(1)～(4)の要件を満たした上で、在学する学校長の許可を必要とする。

## 7. 申込み方法・締切

必要事項をすべて記入した所定の申込用紙に**学校長許可印を受けて、7月8日(金)必着**で以下まで郵送すること。

### 郵送申込先(事務局)

〒111-0041 台東区元浅草1-6-22 (都立白鷗高校内)  
東京高体連卓球男子専門部事務局 若井 清孝 宛

## 8. 参加料 7月8日(金)までに所定の口座に振り込むこと。

団 体 1チーム **2,000円**  
振込先口座 **ゆうちょ銀行 00180-2-155080**

- ※ 新型コロナウイルス感染症や台風等の自然災害による大会中止の際には参加料を返金する。
- ※ 申込受付後の棄権は参加料を返金しない。
- ※ 領収書は9月以降の大会会場にて発行する。それ以前に領収証が必要な学校は事務局宛にメールで連絡すること。

以上

**男子卓球専門部事務局への連絡はメールでおこなうこと。**  
**事務局E-mail: [tkktr\\_pinpon\\_ds@tkdts.net](mailto:tkktr_pinpon_ds@tkdts.net)**

## 感染症対策の徹底について

大会参加校は以下の事項を事前に周知徹底し、遵守してください。引率責任者は当日の確認、指導を徹底してください。

- (1) 参加にあたっては、生徒・保護者から事前に同意書・健康管理チェックシート（別紙）を得ること。各学校の引率責任者（顧問教諭または引率を認められた部活動指導員）は大会当日に健康管理チェックシートを確認してその内容を大会本部に報告すること。同意書・健康管理チェックシートは大会終了後に学校長に提出し、大会後の感染発生時に備えて各学校で1箇月保管すること。
- (2) 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加校の責任において当該生徒の参加を見合わせる。
  - ア. 体調がよくない場合（例：平熱を超える発熱・咳・咽頭痛・強いだるさ・息苦しさ・味覚嗅覚の異常などの症状がある場合）
  - イ. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ウ. 新型コロナウイルス陽性者との濃厚接触者である場合
  - エ. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- (3) 引率責任者のいないチームは委任状が必要。引率責任者は責任を持って選手の体調管理を行う。
- (4) すべての参加者（引率当も含む）はマスクを持参し、常に正しくマスクを着用する。ただし、競技中の選手はマスクを着用しなくても良い。使用したマスクはすべてのゴミとともにビニール袋に入れて持ち帰る。
- (5) 消毒用アルコール等は参加校が用意し、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒や使用用具、観覧席の消毒を実施する。手拭き用のタオル等は各自で持参する。
- (6) 他の参加者や役員等との距離（できるだけ2m以上）を確保する。
- (7) 大会中に大きな声で会話、応援等しない。
- (8) 競技前後のミーティング等においても、三つの密を避ける。
- (9) 感染防止のために主催者が決めた措置を遵守し、主催者の指示に従う。
- (10) 参加者が大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告する。
- (11) 会場への移動等は参加校が責任をもって集団リスク（3密の条件）を避ける。
- (12) 無観客試合のため、以下の者以外の入場は認めない。

### 団体戦

引率責任者：各校1名（顧問教諭または引率を認められた部活動指導員）

出場選手：各チーム4～7名と審判要員部員2名以内

監督：各チーム1名（日本卓球協会役職者登録済みの教諭・部活動指導員・外部コーチ）

- (13) 競技については以下の特別ルールを採用する。
  - ・ 試合前のラケット交換は、台上で見せ合うようにする。
  - ・ 試合前後の握手は行わない。
  - ・ ボールは試合ごとに返却消毒する。
  - ・ 選手は各自でぞうきんを用意し、試合中チェンジコート前に自領コートのから拭きを行う。
  - ・ カウンター（得点板）は使用しない。